

清掃活動を行う若者たち～和歌山で最も知られる団体になろう！～

10代後半から20代前半までの若者たちが和歌山ゴミゼロ活動に励んでいるNPO「クリーン&コネクト和歌山」。今年6月ごろから清掃活動に取り組みはじめました。団体の活動について、代表の幸前青空さんにお話をうかがいました。

今号は、わかやま NPO センターへのインターンシップ生、亀井千紗さん（関西学院大学）、前田春歌さん（近畿大学）の取材・執筆でお届けします。

きっかけは自治会の清掃活動

幸前さんが清掃活動に興味を持ったきっかけは、祖父に誘われ仕方なく参加した自治会の清掃活動でした。朝の清掃は大変だけれどもとても爽快な気分になったそうです。自治会での活動はお年寄りが多く、その活動を継続することが難しく、若者たちの参加を促して活動したいと考えました。そこで幸前さんはボランティアに興味のある同級生を集めて団体をつくり、ゴミ拾いや清掃活動といった最も簡単に取り組むことのできる社会貢献活動を始めました。



代表の幸前さん

清掃活動からきれいな環境づくりへ

現在は団体の運営に関わる約20人と、有志で清掃活動に参加してくれる約20人の総勢40人ほどで活動を行っています。そのほとんどが学生です。人数が多いため、日程を決めるのが一番大変です。メンバー間でも活動に対して意見が違ってもあり、話し合いを重ね、解決しているそうです。

現在のは紀の川河川敷や和歌山城などの清掃活動を中心に行っています。和歌山城の清掃活動は彼の出身校である伏虎義務教育学校に呼び掛け、生徒や先生のみなさんと共同で行いました。清掃活動に加えて一緒に和歌山の歴史を勉強するなど、地域の方と触れ合うコミュニティとしての役割も担っています。

少しでも多くの人に知ってもらいたい

クリーン&コネクト和歌山は色々な場所にボランティア募集のチラシを置いてその活動を発信しています。認知してもらいたいのは団体の信頼にもつながるため「少しでも多くの人に知ってもらいたい」

人に自分たちの清掃活動について知ってもらいたい」と幸前さんには願っています。またSNSを担当するメンバーがインスタグラムや公式ライオンを活用して情報発信するなど、分担して活動しています。



片男波海水浴場での作業の様子

大切にしているのは「つながり」

クリーン&コネクト和歌山は「つながり」が一番考えており、「学校だけではなく普段出会えない人も話せる場所を提供したい」と話してくれました。今後は誰でも気軽に楽しく取り組めるよう



義務教育学校のみなさんとの共同作業



短時間でもたくさんのゴミが拾えるといえます

幅広い知識を持って

幸前さんは団体として

う、清掃活動の後に参加できるスポーツ大会やイベントの開催もやってみようという考えです。また、団体として活動することでメンバーが入れ替わっても継続していくことができます。この「続ける」ということにも焦点を当て、活動を行っています。

今回の取材させていただいて、同年代の学生さんたちがこのような活動を行っていることに驚きました。もっとこの活動が広まり、クリーン&コネクト和歌山のメンバーのように若い人たちが積極的に社会貢献活動に参加でき、地域の活性化につながればいいと思います。



クリーン&コネクト和歌山
電話 090-2915-4210
Instagram
https://www.instagram.com/c_and_c0614/
メール cleanconnectwakayama@gmail.com

コロナに負けるな NPO!

わかやま SDGs パートナーシップ 基金へのご寄附のお願い

みんなの力で SDGs 実現を!

国連で採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」の達成には、世界のあらゆる国、あらゆる主体が参画することが求められています。ここ和歌山の地で、SDGs 達成に向けた取り組みを進める産・官・学・民の連携を進めるための基金「わかやま SDGs パートナーシップ基金」を発足しました。

今年度は、今なお影響が色濃く残る「新型コロナウイルス」に負けず活動を続ける NPO の支援に取り組みます。

個人・事業者等からのご寄附 → 基金事務局 (わかやま NPO センター) → SDGs 達成に必要な事業等への支援

SDGs 達成につながる取組の情報提供 → 基金事務局 (わかやま NPO センター) → わかやま新報や Youtube 等での紹介

ここがポイント!

- ▶ 地域の諸課題は時とともに移り変わっていきます。SDGs の 17 の目標のベースに年度ごとにテーマを設定し、該当する活動を支援します。
- ▶ 本基金による支援先となる NPO 等に限らず、**本基金に携わるみなさまによる SDGs 達成に向けた活動**を、「わかつく」(わかやま新報隔週金曜連載) や

YouTube などの媒体で発信します。

支援方法

- ▶ NPO・ボランティア団体から支援のご要望を募り、わかやま NPO センターが設置する審査委員会を経て、優先度合いが高いと判断された団体に対して支援を実施します。
- ▶ 支援は、個人・事業所等からのご寄附を原資にして、資金支援 (助成等)、非資金支援 (講師や専門家の派遣、助言、情報発信等) の 2 通りを実施します。

ご寄附の方法

- ▶ 1 口 3,000 円から受け付けます。現金によるお支払いのほか、銀行振込 (振込手数料はご負担ください)、クレジット決済 (振込手数料はかかりません) がご利用いただけます。
- ▶ 次年度以降も継続してご支援いただける場合は銀行口座からの自動引落、クレジットカードからの継続決済のご利用が可能です。詳しくはお問い合わせください。
- ▶ 本基金へのご寄附は寄附金税制の対象となります。

くわしくは専用ウェブサイトをご覧ください。クレジットカード決済によるご寄附申し込みフォームもございます。

<http://www.wnc.jp/sdgs/> 【運営】

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】

和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

イベント | NPO・ボランティア交流会

日時 10月16日(土) 13:30～15:00
場所 和歌山市地域フロンティアセンター会議室 (フォルテワジマ6階)

内容 和歌山市内の NPO・ボランティア団体が集まり、日頃の活動に関する意見交換等をおこなうとともに、コロナ後を見据えた活動の連携の可能性を探ります。

参加費 無料
定員 15名 (事前申し込み必要)
主催 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会
備考 お申し込みはこちらの QR コードから可能です。

当日は手指消毒やマスク着用など、感染症対策にご協力をお願いします。体温が高いなどの体調不良の場合は参加をご遠慮ください。

「和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより」は不定期掲載。同協議会に参加している NPO・ボランティア団体等から寄せられたイベント情報、ボランティア募集情報などをご紹介します。